

粕谷和夫の観察日記より。アシナガバチの巣で卵も写っています。お椀を逆さまにしたようなハスの実のような形です。5/4 恩方の夕焼け小焼けバス停で撮りました。女王バチは1匹で産卵のための巣をつくりまします。部屋が一つできると卵を一つ生み、また部屋をつくるということを繰り返すので、巣穴の数だけ卵が産み付けられていることになります。

紅葉台



新聞

第80号

2023年
6月3日

発行人：関谷 孝

美容室さゆり地域に愛されて65年



皆さんは、髪のお手入れはどこに行っていますか。私は、今まで「安くて簡単がいい」と思っていました。ここに来て考えを変えました。せめて残り少ない人生、少しでもおしゃれをする気持ちが大事なのではと。「幸せは自分の心が決める」という相田みつをさんの言葉に妙に納得しているこの頃です。

そこで、紅葉台のラジオ体操仲間から「さゆりがいいわよ！」との言葉に情報を得ていってみることにしました。HPを見ると「お花とトムテ（北欧の民間伝承に登場する妖精、赤い帽子で髭が長い農家の守り神）の可愛い美容室」と紹介。スタッフの皆さんが笑顔で明るくアットホームなお店でした。もともとは、1958年関根幸子さんが高尾北口で始めた美容室です。現在は、南口の駅前通りに移転しました。バスからもよく見えるので皆さん看板を見たことがあるのではないのでしょうか。今は、関根さんの娘さんが経営をされ、お孫さんが受付やネット関係を一手に請け負っています。親子3代それぞれの得意分野を生かしています。



お店のコンセプトは「優しさ」それは、人への思いやりです。アットホームな癒し系サロン。私たちが求めている「居心地のいい場所」に通じます。お店の入り口や店内には季節の花がたくさん飾られていました。花の香りが広がり、綺麗な花が目を楽しませ、心を明るくさせてくれます。店内には心落ち着くアロマの香りヒーリングミュージックが流れています。また、親子3代にわたって通えるバリアフリーの店内。若いお母さん達にも安心なキッズスペースもあります。そのどれもが『人に優しい』に通じます。

さて、私を担当したのはアッキーさん。（主任。年齢は30代かな。研究熱心）「5歳若くしてみますよ！」と言ってくれました。半信半疑、リップサービスかと思っていましたが、施術前と後の写真を撮ってくれていたもので、その変化に大いに満足しました。自分で自覚していませんでしたが、年相応の老けた自分の写真にびっくりとがっかりでしたが、「長澤まさみ風」の髪形になっていました。話も軽妙で、ずっとアッキー節を聞きました。それによると、美容は、全身からくるので自分は骨格からリンパの流れまで勉強したそうです。内面の健康が現れるということなのですね。さすがに頭皮や背中マッサージはツボを得ていました。よくある美容室がススめるシャンプーやトリートメントも髪や肌に優しいオリーブオイルのオーガニック中心を使っていました。石

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。

油系の合成洗剤は皮膚に浸透し、アレルギーになるのでよくないことは知っていましたので、それはいいことだと思いました。アッキーさんに感心したのは、美容師としての自信と考えがしっかりとあることです。毎月講師を呼んでスタッフの人たちは研究会をしているとのこと。「このいいところはそれぞれの持ち味を生かして自分の技術を磨くこと」にあり、そのためか「いつでも家族のようにスタッフが仲良く楽しく仕事をしている」そうです。そういう雰囲気があるお店を創っていくのだと感じました。たまには日常の忙しさを離れて人に髪を洗ってもらうのも至福のひとつではないでしょうか。最後に鏡を見て「うん。5歳は若返ったかな」と妙にウキウキする自分を発見し、また明日も元気で頑張ろうという気持ちになりました。（文責 関谷）



粕谷和夫の観察日記 ウラシマソウ



花弁に見える大きなラッパ状のものは、「仏炎苞（ぶつえんほう）」と呼ばれる苞葉です。苞葉の先端が細くなり、浦島太郎の釣り糸に見立てられました。通常は1本のものが多いですが、この株はジャンボで驚きました。裏高尾日影林道です。

♥ぱっと見はマムシグサとよく似ています。名前がユニークですね。



モミジチゴ

5月中旬、雑木林では、モミジチゴが熟しています。モミジチゴは小さく可愛いオレンジ色の実をつける木苺です。果実は甘く美味しいです。モミジチゴのそばでコアジサイが上品な花を開きました。ヤマボウシ、エゴノキも早くも白い花で咲き誇りました。



ホオノキ

ホオノキで開花のピークが過ぎて実が色づき始めた状態です。これが、夏の終わり頃になると、「大きな赤い実」に成長します。

♥ホオノキは葉も花も実もすべて巨大です。葉は、食べ物を包んだり、みそを挟んで焼いて食べたりするホオバみそが有名です。以前冬芽を紹介しました。ロケットのように上を向いた形で生命力を感じます。

（訂正）79号はカヤランでした。1部の方にお詫び！